

エドモントンでの語学研修を通して感じたこと

エドモントンのアルバータ大学での英語の授業は、私にとって英語のレベルが高く難しいものでしたが、グループワークを通してクラスメートたちからの助けを多く受け自分の英語スキルを改善することが出来ました。新しい環境での授業では、普段なかなか自ら発言できない私も積極的に挙手して発言することが出来ました。これは、日本と異なる文化に触れることで、自信を持って自分の意思を表現する力を得る良い機会になったと考えています。また、日本各地や韓国から集まった新たな友人たちとの交流は私の視野を広げてくれました。

授業が終わると毎日アクティビティが待っており、エドモントンの名所を訪れることが出来ました。これらのアクティビティでは、公園、コーン迷路、歴史的な建物や政治に関わる建物などを訪れ、私の眼に新しく映るものばかりでとても新鮮でした。なかでも印象的だったのはカンバセーションクラブです。決められたテーマの中で音楽の趣味について会話をしました。日本とカナダの流行の違いを実感することができました。

なによりも、ホームステイ先での経験が私にとってとても大きな経験となりました。最初は英語でのコミュニケーションに不安を感じていましたがホストファミリーとの交流を通して次第に不安が解消されて、英語でのコミュニケーションを楽しむことが出来るようになりました。最初は緊張から英語が聞き取れないうえにうまく話せず、翻訳アプリに頼ってしまいました。緊張が解けてくると翻訳機に頼らずに自分の言葉で会話することが出来るようになりとてもうれしかったです。ホストファミリーは、仕事が忙しいのにも関わらず、教会やジムに連れて行ってくれました。学校でのアクティビティとは違って、日本語を話す人は自分だけでそれ以外の大勢は英語しか話さないという状況になったとき、少し不安を感じましたが、スモールトークを通じて見知らぬ人との会話という新たな文化を楽しむことが出来ました。

そして、ロッキー山脈のバンフへの旅行は心に残るものになりました。壮大で美しい自然の風景と、リスやマウンテンゴートなどの野生動物たちに囲まれ自然の広大さに感動しました。見た景色や思い出は私の心にずっと刻まれると思います。

エドモントンへの語学研修という経験は当然ながら私一人ではすることが出来ませんでした。私がカナダへの旅を無事に過ごすことが出来たのは先生方、カナダを案内してくれた方々、新たにできた友人たちのおかげであり、深く感謝しています。異なる文化や背景を持つ人々との関わりは私の思考を豊かにし、新たな視野を手に入れ、自己成長するための貴重な機会となりました。暮らす場所や話す言語が違ふと異国の地だというようにホームタウンである日本とは分離して考えてしまっていました。ですが、それは違っていてその地の文化を知ろうとすれば怖さを感じずに過ごすことが出来るのだと実感しました。エドモントンを第2のホームタウンだと感じる事が出来ています。この語学研修の経験から見聞を広めることができたため今後活かしていきたいと思えます。